

### 【ダブルス戦】「スーパーワンショットリレー200」

- ① 2nd ラウンド各グループの最上位チームと主催者推薦チームの4チームをFINAL 出場チームとする。
- ② 各チーム内で投球順を決めて、各チーム第1投球者から順に1投ずつ投球する。最終チームの第1投球者の投球が終わったら、最初のチームの第2投球者が投球する。これを繰り返し、倒したピンの本数が最初に200本に到達したチームの優勝とする。(ただし、主催者推薦チームは最終順位に含まない。よって、最初に200本に到達したのが主催者推薦チームだった場合はそのまま競技を続行する)

※1 この競技は倒した本数でカウントするため、ストライクであっても「10本」とする。

※2 投球は必ず交互に行うものとする(同じ投球回数で200本に到達した場合は、代表者によるワンショットマッチで決着をつける)

※3 投球がストライクではなかった場合、2投目は投球せずリセットをし、次の投球者が投げる際は10本立った状態で投球する。

※4 ボーナスポイントとして、ストライクが3回続いた場合は+10点を加算、以降ストライクが続く毎に+10点を加算して計算する。

(例)	選手 A	選手 B	選手 A	選手 B	選手 A
倒した本数	8本	10本	10本	10本	10本
合計得点	8点	18点	28点	48点	68点

※5 投球するレーンは、2nd ラウンド7ゲームの総得点上位チームが優先的選択権を有する。

※6 投球する順番は、レーン番号の若い方から順に投球する。

※7 最初のチームが200本に到達した時点で決着とし、第2位第3位はその時点での得点数で決めるものとする。(ただし、到達したターンは全チームが投球し投球回数に差はつかないようにする) また、主催者推薦チームが最初の到達チームだった場合はいずれかの予選通過チームが到達するまで競技を続行する。

### 【チーム戦】「カレントカウントアップ360」

- ① 予選ラウンド上位3チームと主催者推薦チームの4チームをFINAL 出場チームとする。
- ② 各チームで投球順番を決定し、第1投球者から順にベーカー方式で競技を行う。(カレントスコアリングシステムでスコアは計算する) フレーム毎にスコアが加算される中で、最初に360本に到達したチームの勝利とする。(ただし、主催者推薦チームは最終順位に含まない。よって、最初に360本に到達したのが主催者推薦チームだった場合はそのまま競技を続行する)

※1 投球するレーンは、予選ラウンドの総得点上位チームが優先的選択権を有する。

※2 投球する順番は、レーン番号の若い方から順に投球する。

※3 勝敗の決着は360本に到達したフレームの早さでつけるものとし、ストライクの数や投球した回数は考慮しないものとする。(ただし、同じフレームで360本に到達した場合は、各チームの代表者によるワンショットマッチで決着をつけることとする)

※4 2ゲーム目突入時は投球順番を元に戻すのではなく、10フレームを投球した選手の次を投球する予定だった選手が2ゲーム目第1フレームを投球する。

(例: 1ゲーム目に1, 5, 9フレームを投げた選手が2ゲーム目は3, 7フレーム目を投球する)